

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970101923
法人名	有限会社 ケアコミュニケーション
事業所名	グループホーム ぐりーんはうす
訪問調査日	平成21年3月18日
評価確定日	平成21年5月7日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970101923		
法人名	有限会社 ケアコミュニケーション		
事業所名	グループホーム グリーンはうす		
所在地 (電話番号)	高知県高知市瀬戸2丁目 13-47 (電話) 088-841-7005		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年3月18日	評価確定日	平成21年5月7日

【情報提供票より】(平成 21年 3月 1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 17年 7月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 14人, 非常勤 5 人, 常勤換算 16.45 人	

(2)建物概要

建物形態	併設/ <u>単独</u>	<u>新築</u> /改築
建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,000~35,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	有(円)	<u>無</u>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 1,000 円			

(4)利用者の概要(3月 18日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	6 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	0 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低 71 歳	最高 99 歳		

(5)協力医療機関

協力医療機関名	長浜病院 オザカ歯科
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

玄関先では色とりどりの鉢植えの花で訪れる人を出迎え、室内は清潔感あり、中に入るとすぐに目に入る地域ふれあい交流コーナーは、参加者の笑顔で賑わっており、安らぎを感じる。又、デイサービス、グループホームとそれぞれの憩いの場があり、全体的に明るく和やかで、利用者がすぐに打ち解けて参加できそうな爽やかな雰囲気醸し出され、心地よい居場所となっている。現時点で地域との交流はできているので今後も引き続き交流していくことが期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価で出た課題については、改善計画シートにより点検し、職員全員が改善に向けて取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全体会やフロア会で、運営者、管理者、部長、職員全員が課題について話し合い、自己評価に取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 事業所が運営報告、事業内容等の説明を行い、市の包括支援センターや、民生委員、利用者や家族の代表者等から質問や意見、要望が出され、双方向的な会議になっている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 玄関先に意見箱を設置したり、直接苦情があったときは、苦情記録を作成して、運営者、管理者、職員全員に周知し、改善方法を協議の上、次の家族会時に対応について話している。家族だけの会で話された意見や不満、苦情については、運営側に報告し反映している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域が高齢化しており、集会所もなく地域の年中行事は少ないが昨年町内会に加入している。防災訓練や施設内の各種イベントには地域に参加を呼びかけ、日頃から、地域ふれあいコーナーで将棋やカラオケに参加される方々とは馴染みになっており、自然な関係で交流し、連携ができています。また、保育所や小・中学校は離れているが、どろんこ祭りやよさこい祭りの時期に交流がある。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 地域密着型サービスの趣旨に沿って、地域と交流し、共に歩み地域に貢献できる施設を目指している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 全体会、各フロア会を月1回開催し、理念を全職員に周知し意識づけを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 月1回の勉強会では、テーマ(虐待、感染、身体拘束、防災、行事、リスク管理等)を設定し、また、各フロア会などでも理念について意識づけるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域が高齢化しており、集会所もなく地域の行事は少ないが、開設当初から事業所が地域のふれあいの拠点として参加する住民と馴染みになっており、自然な関係で交流している。また、どろんこ祭りやよさこい祭りの時期には、保育所、小・中学校と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 全員で自己評価に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価で見出された課題について、改善計画シートにより点検し、改善に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 市の包括支援センターや、民生委員、利用者や家族の代表等から質問や意見、要望が出され、双方向的な会議になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 課題については、運営推進会議に報告し、改善に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 市職員の研修場所としての活用はないが、市の介護保険課の窓口には度々出向いて相談をしたり、市職員の来訪もある。また、市の計画した研修や事例検討会に参加し交流している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の来訪も多く、その都度、声かけや利用者の状況を話し合っている。半日くらい、孫連れでゆっくりと過ごす家族もいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 毎月、季刊誌「ふれあい」を発行し、家族の来訪時に渡したり、家庭へ送付する際に、個別のお便りも添えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 変化や問題の起きた時は、その都度、電話等で報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 金銭出納帳を作成し、家族に確認印又はサインをもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会では、日々の利用者の生活状況をビデオで見てもらい、家族だけの話し合いの機会も設け、事業所との協議等に繋げている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情記録ファイルを作成し、職員に周知の上、発生した内容について検討し、共有しながら質の向上に努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 職員の異動はほとんどなく、馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 職員の異動時は、引き継ぎ期間として1ヵ月間位とり、利用者が職員に馴染む期間に配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 正職員、パート職員分け隔てなく交代で研修・会議に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修会等の内容については、共有のための伝達講習を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入している。他の事業所の見学や新設事業所等の見学の受け入れが職員の良い刺激となり、サービスや質の向上につながっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 研修会や勉強会、ケアマネ会へ参加し、又、同業者への訪問や交流により、職員のサービスや質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>利用者や家族と馴染みの関係をつくり安定的な利用ができるよう、意向の確認や了解も得られるよう時間をかけて相談を受けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>利用者や家族に、事業所をゆっくり見学、体験してもらうようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>施設長、副施設長、管理者、部長、主任等が4人で面接をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>掃除、洗濯、食器洗い、野菜作りなど一緒に行うなかで、利用者の持っている力の活用を図りながら、互いが役割を持ち、協働して生活ができるような場面作りに努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者と向き合い、ゆっくりとした時間をとり、本人の表情や行動から思いを感じとり、共に暮らしていくなかで、見守り、支え合う関係づくりに努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>利用者本人から昔のことや、どうしたいのか希望や意向を聞くようにしている。その時は、表情が和らいたり、本音が出ることもある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族の来所時に利用者の生活歴等を聞き、情報を得ている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>家族から要望等を聞いたり、『入所者さん連絡ノート(気づきノート)』に記入してもらうなど、介護計画作成に反映させている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>利用者の担当からフロア会で報告を受け、職員全員で確認している。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3か月毎に介護計画を見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>設定された期間以外にも状態の変化や本人、家族の要望によって、随時見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>看護師の配置があり、主治医の指示のもと、医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>通院は家族の対応を基本としており、できない場合は職員が対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 本人、家族の意向に沿った受診を支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 希望に沿って対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 受診結果や検査結果は個別日誌に綴じ、職員で共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 指針を作成しており、家族から終末期対応の同意書もらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられように取り組んでいる。 H21年3月に1名の看取りに対応するなど、安心して納得した最期が迎えられように取り組んでいる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 利用者に対しては、常に思いやりの心で接するように心がけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 職員間で意識し、周知徹底している <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 個別日誌の中に、常に目に触れるように留意事項を記載した注意文書をファイルし、ケア記録の際には、個人情報保護法の理解及び徹底を意識づけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者が自然にできることや、その人らしさの表現、培った歴史の大切さ、個性を生かした柔軟な個別の対応をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 畑仕事や調理、自室での宗教のお祈り等、自由な生活が楽しめるよう配慮している。食事も体調に合わせ、摂取時間等について利用者毎に個別の対応をしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 献立や調理について利用者の意見を聞き、野菜きざみや料理の盛りつけ、配膳など利用者の意志や気持ちを大切にした支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 検食の1名は利用者と同じものを食べているが、その他の職員は弁当持参もあり、利用者と職員が同じものは一緒に食べていない。	○	食事は暮らしの中での人間関係づくりに重要な側面があり、事業所の特性を踏まえて職員が利用者と一緒に食事を楽しむ環境づくりの検討を期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 希望により夜間入浴もあり、時間帯を設定し利用者の希望に沿った入浴ができるよう、職員の勤務体制の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴を拒む利用者に対しては、温泉気分になれるデイスービスの広い浴場を利用するなど、気分を変えて入浴へ導く工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 野菜作りを希望する人には、エンドウ豆やニラ栽培をしてもらい、青梅の時期には紫蘇漬けや、焼酎漬けを作る等、経験や知恵を発揮した場面作りをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 読書が好きな利用者には、近くの図書館に一緒に行き、本を借りてくるとか、イチゴ狩りやお花見の機会を設けて楽しんだりできる働きかけを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 近くの量販店に、毎日交代で買い物に出かけたり、郵便局に手紙を出しに行ったり、馴染みの喫茶店へモーニングを楽しみに出かける利用者もいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的にやっている。 車いすやシルバーカーも利用し、戸外に出ることを支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 日常的に散歩や買い物、ドライブ等に出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 昼間は鍵は掛けていない。夜間は職員が1人勤務となるため各出入りにセンサーをつけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえ関係を築いている。 近所から、散歩時に利用者に対して気遣いや声かけをしてもらう関係ができています。		
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 年2回避難訓練を行っている。地域ふれあい交流コーナー利用の地域住民の参加、協力もあり、うち1回は消防署の協力を要請し実施している。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 避難路の確保や消火器の整備点検は行っている。非常用食料・備品は各ユニット毎に準備しているが、利用者9名及び職員分の備蓄量(3日分を目安)は十分確保されているとはいえない。	○	非常用食料・備品の備蓄量について、十分な量の確保に向け、検討されることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事や水分の摂取量はチェックシートで確認している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 食事の食べ残しから嗜好を把握し、栄養バランスにも配慮した施設独自の献立を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 外部業者の栄養士に委託していたが、今年1月からスタッフの栄養士がチェックしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 施設の2階部分に、日当たりがよく、ひなたぼっこや休憩できる共用空間がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気や壊していない。 階段壁面に折紙等で、一般家庭に馴染みの年中行事をさりげなく表現している。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 季節に先駆け、つぼみのふくらんだ桜花を活けたり、カレーライスの献立を取り入れるなど、季節感や五感の働く刺激にも配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 利用者の馴染みの持ち物を持参するよう助言している。今後も手提げ袋や愛着ある衣服等の持参を勧めていく。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。 全体的に簡素な雰囲気のある居室となっている。障害物が少ないので、つまづく危険性はあまりないが、その人らしく居心地の良い居室作り本人や家族の意向も踏まえて取り組んでいる。		